



昼生小学校

第2号

学校運営協議会だより

発行：令和5年7月20日

夏の到来とともに、明日から8月31日まで、子どもたちの楽しい夏休みとなります。子どもたちが、家庭や地域で安全に過ごせるように、身近な所での見守りにご協力をお願いいたします。

皆さんも、体調管理にご留意され、お元気に夏をお過ごしください。



【図書室掲示】

7月12日 第2回学校運営協議会を開催

今回は、主に、今年度から始まった「複式教育と学校支援ボランティア活動」の状況、「あいさつの習慣化」に向けた取組、これからの「特色ある学校づくり」について、熱心な協議が行われました。

1学期の子どもたちの様子

1年生：名前をすらすら書けるようになった。

当番活動を進んでやっている。

2・3年生：渡りの授業を行う際には、**学習リーダー**が進めている。生活面では、3年生がリードする姿があり、

2年生は3年生を手本としている。

4年生：説明の仕方をノートに書き、話し合いに生かせるようになってきた。委員会活動では、高学年の活動を見たり、自分たちで教え合ったりする姿が見られる。

5年生：宿泊研修では、協力する姿が多くみられた。言いたいことを言えるが、きつい言い方もあるので、言葉遣いを見直している。

6年生：タブレットで調べてまとめる力がついてきている。休み時間に他学年を誘って学年を超えて遊んでいる。



☆ 委員からは、「1年生の子どもたちが、6年生の教室に折り紙をしに行くのを楽しみにしていたり、6年生が他学年の子どもを誘って遊んでいたりと、

学年を超えたつながりがある。規模の小さい昼生小学校ならではの良さがあると思う。」という意見がありました。

また、「複式教育の授業の様子を参観させてほしい。」という意見もあり、**2学期に参観する機会**を設ける予定になっています。



複式教育と学習支援ボランティア活動

複式教育については、渡り授業や2つの学年で行う合同授業の時間割の組み方を学校全体で工夫して行っています。時間割は複雑になっていますが、子どもたちは、落ち着いて学習できる態勢になっています。このため、学習支援ボランティアの活動は、当初想定していた渡り授業の支援ではなく、家庭科の裁縫の学習などで補助をしていただいています。子どもたち、教員、ボランティアの方、それぞれがともに活動できて良かったという声があります。

また、授業で子どもたちが自ら学習を進めていく力をつけるため、子どもたちの中に**学習リーダー**を育てる取組を進めています。

☆ 委員からは、「外部からは、うまく進めているととらえられているようだが、複式学級以外の学年でも合同授業があり、一人でも先生がいない状況になると、**運営が難しいのではないか。**」「先生が2名減となった中で、工夫されてやりくりされているが、めいっぱいではないか。他県では、教員の配置を市独自に行っている例もあるので、**昼生小学校も市内の関係校とともに教員配置を要望していく必要があるのではないか。**」「合同授業にすることで人数が増え、体育のゲームや音楽の合唱では有効である。」「地域では、自主的に**学習支援ボランティア**をしようと考えてもらっている方がみえるので、活躍していただける機会があると良い。」「**年度内には、複式教育の取組について検証しておく必要がある。**」などの意見が出されました。

おはようございます!!



「気持ちのよい挨拶の習慣化」に向けた取組

【3年間の教育アンケート結果】「児童が家庭や地域で挨拶をしている」割合

(単位:%)

	令和4年度				令和3年度				令和2年度			
	肯定的評価		否定的評価		肯定的評価		否定的評価		肯定的評価		否定的評価	
	そう思う	そだいたい思う	思わまらない	思わない	そう思う	そだいたい思う	思わまらない	思わない	そう思う	そだいたい思う	思わまらない	思わない
児童	85.4	14.6	0.0	0.0	84.5	15.5	0.0	0.0	82.8	14.1	3.1	0.0
教員	40.0	60.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	0.0	9.1	81.9	9.1	0.0
保護者	52.2	32.6	15.2	0.0	30.2	58.5	11.3	0.0	47.6	34.5	16.4	1.6
委員	8.0	84.0	8.0	0.0	43.0	57.0	0.0	0.0	14.0	64.0	22.0	0.0

☆ 委員からは、「挨拶をするように言われるからするのではなく、**なぜ挨拶をするのか**について学ぶことが大切である。」「たとえ子どもたちが挨拶をしないときでも、**大人から挨拶**をしていきたい。社会生活では、挨拶が重要である。」「挨拶をもらって嬉しかった**体験や気持ち**を共有してほしい。」「**顔を合わせることは、挨拶につながる。**」「まちづくり協議会や自治会でも、挨拶の取組を広めて**地域全体で進めていく**と良い。」などの意見が出されました。

「**特色ある学校づくり**」については、現在の取組内容や方向性を継続していくという意見もありましたが、「内容や予算を**焦点化**して考えていく。」「**学校・保護者・地域**で子どもを育むように取り組む。」「**昼生の子どもにどのような力をつけるかが出発点**である。」などの意見も出されました。今後の取組につなげていきます。

また、通学の安全のために、**中庄橋の東側左岸の草刈**をボランティアで行ってきたが、地域と学校、PTA で力を合わせて取組を検討すべきではないかという話がありました。